
ヤンデレンAの処方箋

あるふぁ@空鍋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヤンデレンAの処方箋

【Nコード】

N9234Z

【作者名】

あるふぁ@空鍋

【あらすじ】

ブラシーボ効果とラムネ菓子。

(前書き)

ししむごやなごよ。

ヤンデレンAはヤンデレの女性のお薬です。

ヤンデレの女性のお薬です。

朝6時

おはよ。たつくん。

壁を一つ隔てて隣のお部屋に、愛しの彼が寝ている。

そう思うだけで私は幸せのため息をついてしまう。

はあ。

はあ。はあ。

はあははははあはははは・・・

いけない。過呼吸、過呼吸。

すーは すーは。

あれ、もう15分も経ってる！！

たつくんのことをもう15分も考えちゃった。えへへへへ。。。

さて、たつくんを起こしに行こうっと。

私、琴美。たつくんの彼女。

私以外の女はたつくんに必要ないのだ。

朝から晩までずっといっしょにいたい。あんなことやこんなことや、襲われたりや、ノノノや。。。

でもたつくんの理性は鋼です。

しかし、その原因も分かってます。

それはたつくんと私が10000億年の因果を超えて再開した去年

の12月のことでした。
たつくんのごことが大好きだった私は、48手を使ったたつくんの勤める会社に転職したのでした。

たつくんは嘘がとても嫌いです。

私はたつくと約束しました。嘘をつかないって。
だから私はたつくんのそばにいる権利を獲得するまでのほんのちょびつとのいきさつをたつくんにお話ししました。

たつくんはこう言いました。「それって”付きまとい”とかつて言うんじゃないの？」

ちがいます。これは崇高な愛の儀式の一環なのです。

しかしたつくんはとても気分を悪くしてしまつたようで、それから数日、私と仕事以外で口をきいてくれませんでした。

ちゅーもしてくれなくなつたし、手も繋いでくれなくなりました。
そしてあるうことか同僚のあの雌豚に私のことを話していたようで、私はついつい雌豚を刺し違えてしまいそうになつたところであつくんは私のことを許してくれました。えへへ。

愛の力は偉大だねっ！

そんなこんなで、私はいいことを思いつきました。

たつくんにとつて、私の愛は少し重すぎるようです。

私はまるで病んでいるような女の子。

病気の子にはお薬が必要です。

さっそく私はお薬を飲むことにしました。

たつくんはとても優しいので、私を心配してくれます。

”僕を愛するばかりに狂ってしまった。僕が責任をとらないと。”

そんな言葉も聞いた気がします。ありがとう。責任とつてくれるんだ。えへへへ。

おっと、よだれが。じゅるり。

さて、ええと、そんなこんなで、私はお薬を飲むことにしました。飲み方は簡単。

たつくんの携帯に捨てアドでメールを送ります。

ヤンデレンA

もしも、とつても嫉妬心が強かったり、監禁された経験があったり、バールのようなもので殴られたことがあったり、ヤンデレな経験をお持ちの方がいらっしゃったら、ヤンデレンAをぜひお試しください。

一日一回、朝に飲むだけ。

あの狂気の眼差しが愛くるしい小鳥の眼に。

呪詛のつぶやきが愛の囁きに早変わり。

まずは3日間お試しパックをいただきますどうぞ。

たつくんはすぐにメールに返信をして、お薬を買ってくれました。

私はあらかじめ用意してあった”ヨー レット”をヤンデレンAと真っ赤な字で書いた箱に入れると、

彼の家に速達で発送します。

次の日の朝、彼は私にお薬を飲むように提案してきます。

ああ。なんて幸せなんでしょう。

彼はこんなにも私のことを気遣ってくれます。

さっそく彼は薬を手渡します。しかし、私は飲みません。

しょうがないので彼が飲ませようとしてくれます。

”私はたつくんのお口からおくすりがのみたいなー。”

たつくんはとても優しいので私の為に口移しでお薬を飲ませてくれます。

これでたっくんとのスキンシップの時間がまた増えました。やったね。

お薬をやめると効果がなくなっちゃう設定なので、たっくんはずっとお薬をのませてくれます。

ずっと。ずっと。

そしてもう少ししたら、この薬には飲み続けないと死んでしまう作用があるという注意書きを書いて送ってみようと思います。

ずっと。ずっと。

優しくて、思いやりがあって、かわいい、たっくんできてね。

じゃないと私、お薬でもどうにもならなくなっちゃうかもよ？

(後書き)

真相だよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9234z/>

ヤンデレンAの処方箋

2011年12月28日23時03分発行